

9月、10月 利用者運営委員会からの報告

利用者運営委員会が求める自主運営

利用者運営委員会には、広報委員会、利用促進委員会、学習委員会、防災委員会、規約改正委員会の小委員会があります。

各小委員会の代表者はそれぞれの委員会で話し合った内容をまとめて各代表者による【**会議効率化委員会**】に出席し、利用者運営委員会で検討しなくてはならない議案づくりをします。

毎回そういった過程を経て、利用者運営委員会で熱い討論が展開されています。委員のみなさんは、真剣そのものです。

1F 活動スペースは誰でも自由に使えるスペースですが利用者のマナーを考慮したルールづくりが必要です。**3F フリールーム**はボランティア活動に寄与する目的の団体が使用できるスペースですが、その基準はどこにあるのか。また、休日における施設の利用を特例として認めることは可能なのかなど、今後検討していかなくてはならない課題は山積しています。

すべての人にとって暮らしやすい街や社会をボランティアの手でつくるという大切な使命のもと、財団と我々利用者の車輪が両輪となって、ともに**自主運営**を模索していきたいと考えています。

皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

～年末大掃除に参加しましょう～

1年間ありがとう！感謝の気持ちを込めて年末恒例の大掃除を実施します。

終わった後は、**交流会**です。

みんなでワイワイ楽しんでやりましょう！！

12月27日(月) 13時～15時

雑巾、軍手、ビニール手袋をご持参ください

交流会の差し入れも大歓迎です。



防災訓練が行われます

秋の防災訓練が行われます。

万が一に備えて、また防災意識を高める上でもぜひ参加してください。

11月10日(水) 11時～11時半



財団からのお知らせ

11月1日より財団法人から公益財団法人へ

現行の公益法人(社団法人・財団法人)の中には、公益性の薄れた団体、補助金や業務委託の行政依存体質団体、単なる天下り団体等、このような団体が多いなどの指摘があり、市民による非営利活動の発展を推進することを目的とした公益法人制度改革が行われます。現在の財団法人は一般財団法人と公益財団法人とに再編成されますが、当財団は公益財団法人として申請を行い「**公益財団法人プラザ・コム**」となることになりました。



こむの音楽会

11月20日(土) 午後2時～3時

ぶらざこむ1 1階活動スペース2

ハーモニカでつづる昭和史

日本の童謡・叙情歌の伝道師

「もり・けん」さんのお話と

ハーモニカ演奏をお楽しみください。

ぷらざこむ1の登録グループを取材

「こりスペース カ
フェ」を開いて
いる。
9月の定例会の
あと、おとなメ
ンバーに話を
お聞きした。
「フレミラ思春期
ひろば事業とし
て、フレミラで活
動することも多
い。フレミラは元

「自分たち親がエンパワメ
ントし(力をつけ)、社会の中
で息がつまりそうになってい
る子ども・若者たちが進んで
いく道筋を一緒に探してい
なくてはならない。私たちの
していることは社会の意識啓
発であり、そのために自分た
ちが発信していくことが必要
であるし、仲間が必要。」
医療や福祉とはちがう。セル

身が参加するボランティアグループ
です。絵カードなどの作成やラベル

いな*フレンズ

自閉症スペクトラムの方自

いな*フレンズは



られながら山本のあいあいパークま
で、ごみ拾い清掃を行いました。ま
ずは、今日の行程を書いたカード
で流れを確認、それから、ストレッ
チ体操をして、ごみ袋とトンゴを
持つて出発です。煙草の吸殻を拾い
ながら歩き、途中神社の境内で休
憩し、あいあいパークへ。快晴の秋
空の下お弁当の時間です。体を動
かした後気持ちのいい戸外で食も
進みます。あつという間に平らげ
て、記念撮影。帰りは、切符を買っ
て電車に乗って、ぷらざこむ1にも

活動の中で作業体験をすること
で、いな*フレンズのメンバーが、
自分に合う仕事を考える機会と
なり、将来の暮らしに役立てるこ
とができるように活動し、経験を
重ねていって
ほしいと思っ
ています。代
表の山本さん
のお話です。



毎月第2・4火曜午後1

■ぷらざこむ1を利用するのは?
■セルフヘルプグループとして...

時から4時まで、ぷらざこ
む1会議室でおしゃべり会
を開催、おとな同士情報
交換を行うと同時に、同じ
時間帯、フレミラ思春期ひ
ろば事業・子ども若者ほっ

「不登校の子どもが学校へ
行く」とは『解決』ではない
から。周囲の人、地域とつな
がりながら『生きづらさを抱
えながらも生きる』意味を親
も子も考えることが大切」

「場所、備品の借用ができる
のもありがたい。」
「ゆつたり過ごすスペースと
して、ぷらざこむ1は居心地
良く利用している。」
「多くな子ども、元気な老人が
多く、生きづらさを感じてい
る参加者がそこに居ると疲
れてしまうこともある。」

第4回は現地、それ以外はぷらざこむ1にて開催
第6回は特別講演で、定員100名
ボランティアグループ Childrenの生演奏あり
◆第3回11月13日(土)10:30~12:30
「不登校・ひきこもりの居場所 親が立ち上げる」
ホットカフェ as 三好礼子さん
◆第4回11月20日(土)10:30~12:30
「居場所見学&交流会」
◆第5回12月11日(土)10:30~12:30
「いまどきの子どもたち 思春期の相談の現場から」
「親が自分を語るこの意味」
◆第6回2011年1月22日(土)14:00~16:30
特別講演「生きづらさを抱えながらも生きる意味を考える」
「生と死の現場から」 ぶじ内科クリニック院長 内藤いずみさん
「ありがとう わが娘・順子 JR福知山線事故からのテイク・オフ」
鈴木もも子さん・順子さん
申し込みは宝塚社協ボランティア活動センターまで

2010年不登校から考える講座を9月から開催中(第1、2回は終了)

貼りなどの作業、活動拠点のぷら
ざこむ1や周辺の清掃ハイクなどの
活動を月1回日曜日に行っていま
す。
対象者は中学生以上で、皆さん平
日は学校へ通うか、作業所で働いて
います。
2010年10月の活動は秋の清
掃ウォークでした。10月17日
(日)ぷら
ざこむ1に
集合した
メンバーは、
支援スタッ
フと家族
とに見守



どつて、報告会&おやつタイムのあ
と解散。
「自閉症の方は、休日や余暇の
活動の幅も少なく、社会の中で活
動する機会も少ないことが多いで
す。能力もあり、時間もある自閉
症の人が余暇活動のひとつとして
ボランティア活動をすることで余
暇活動の幅や機会が増えればと思
い、始めた活動です。
自閉症の方が自分に合った仕事
に巡り合うと、ほれぼれするよう
な美しい所作でじつくりコツコツと
作業を行う姿を支援者として見て
きました。